

■ 活動内容

看護部活動方針に基づき以下の活動を実施しました。

1) 高度急性期急性期医療を担う病院の看護職員として、高い倫理観をもち、看護実践力を高めることにより、質の高い看護を提供する

(1) リスクマネジメントマニュアルを確実に遵守する職場風土を醸成する

・マニュアル遵守へつなげるよう、各部署やラダー研修で、リスクマネジメントマニュアルを参照してヒヤリ・ハット事例を振り返る機会を設けています。

(2) 効率・効果的な看護ケアを提供できる体制を拡充する

・入院前からの多職種連携として、薬剤部は、薬剤アレルギー・内服薬の確認し、栄養部は、食物アレルギーの確認、リハビリテーション科は術前リハビリテーションを実施、認知症センターは、認知症のスクリーニングをそれぞれ開始し、他職種と情報共有を図りながら看護ケアを行いました。本年度からは病棟担当 MSW を固定化し、退院支援の強化も行いました。

(3) 患者中心の看護を提供する

・視野を広げ倫理的感性を磨くことを目的に師長ミーティングや副師長会にて倫理カンファレンスの内容共有を継続しました。倫理カンファレンスの進め方に困った部署へは看護倫理委員会委員が相談に対応した結果、今年度の倫理カンファレンスの開催件数は141件（前年度+66件）に増加しました。

2) 看護職員のキャリア支援や業務改善を実施し、働き続けられる職場づくりをおこなう

(1) 看護職員の個人面接を実施しキャリア支援を行う

・2名の認定看護師（集中ケア・慢性心不全看護）が誕生し、認定看護師は合計12分野20名となりました。

・がん看護専門看護師コースに1名が進学し、認定看護師教育課程B課程に2分野（がん放射線療法看護、腎不全看護）2名が受験し次年度進学することになりました。

・師長によるスタッフのキャリア支援面接の実態を調査した結果、師長は定期的にスタッフ個々にあわせた面接を行っているなど、師長が重要と考えている内容や工夫が分かり、それらの結果をもとに「キャリア支援面接ガイド」を作成しました。

(2) 職務満足度調査をもとに良い職場づくりを行う

・各部署のマネジメント評価の客観的なデータとして職務満足度調査を実施しました。その結果及び客観的な情報をもとに、各部署がマネジメントコンパスチャートを用いて目標達成を目指す内容と問題解決で取り組む内容を明確にしました。毎月部署のマ

ネジメントの取り組みを共有できるPR会を開催し、他部署の師長・副師長と共に意見交換することができました。

3) 医療・教育・行政機関等と連携を図り、県内の看護職員の質向上と看護学生の育成に努める

(1) 研究ならびに実習演習のサポートを通じて教育機関との連携に努める

・看護学科教員より、3組（4名）のスタッフがクリニカルラダーⅢ「日常ケアから看護研究へ」の取り組みに直接指導を受けました。

・CNTAPを活用した看護学科授業のサポートは老年看護学の演習補助など6件あり、授業のサポートとしてスタッフを合計82名派遣しました。

・CNTAPの実施開始から5年目となり、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により臨地実習の機会に影響があり、学生にとっても病院スタッフから直接指導を受ける貴重な機会となりました。

(2) 新たな看護の知識・技術の開発を推進する。

今年度当初、緊急事態宣言を受けレベルⅠ以外のクリニカルラダー研修は一旦延期となりましたが、8月から再スタートとなったレベルⅢの「日常ケアから看護研究へ」では、3例が発表されました。

(3) 三重大学関係病院長会議看護部会、がん連絡会議看護部長会、CNML*研修などを開催し、県内の看護職員の質向上について検討する会議を開催する

・三重大学関係病院長会議看護部会は8月にZoomにて開催し、がん連絡会議看護部長会は6月に対面、2月にZoomにて開催しました。

・三重県事業として令和2年度看護組織が地域で学び合う一三重の看護管理の担い手の養成研修を開催しました。臨床看護マネジメントリーダーを養成するために「マネジメントコンパスの理解と活用方法」「PDP概論」の講義を交え概要の理解を得られるようにしました。その後PDP演習を行いました。県内の施設より、延べ376名の参加を得ました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、すべてオンラインを活用し研修を行いました。

*CNML：Clinical Nursing Management Leader

主な実績

認定看護師が2名（集中ケア・慢性心不全看護）誕生し合計20名になりました。また、認定看護管理者が2名誕生し合計7名になりました。看護部教育活動として、クリニカルラダー、静脈注射の研修の認定者を（表3）に、実習の受け入れ者数を（表4）に示します。学会ならびに研究会・地方会での発表は11件、論文発表は2件、執筆は8件でした。

表3 クリニカルラダー・院内認定・静脈注射認定者

	人数
クリニカルラダーレベルⅠ認定者	78
クリニカルラダーレベルⅡ認定者	77
クリニカルラダーレベルⅢ認定者	10
クリニカルラダーレベルⅣ認定者	1
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2a b合格者	95
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2c合格者	150
静脈注射認定クラス3薬剤ランク2d合格者	149

表4 実習の受け入れ者数

	人数
大学院生	2
大学生	410
専門学校生	45

■ 今後の展望

今後も、高度急性期・急性期を担う病院の看護職として高い倫理観と必要な知識・技術を身に付けた看護職の育成を継続し、質の高い看護を提供できるように取り組みたいと思います。そして、医療人の育成と未来を拓く臨床研究の推進を担う大学病院として、国内外の学生や研修生を受け入れるとともに、個々の看護職員が研究マインドを持って働くことのできる職場作りに取り組んでゆきたいと思います。

さらに、当院を含め県内の看護職員の質向上のため、関係病院長会議看護部会やCNML養成研修等の活動を通じて、他院との連携を図っていききたいと思います。

▶ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp/nurse>